



畑作物全般

今後の豆類、てんさい防除について

作物全般の生育は平年より早く進み、7月15日現在では、大豆で+6日（開花が始まっています）、小豆で+2日、てんさい+4日です。少雨で推移していますが、今後の気象状態では高温・過湿状態が続くことも予想されますので、病害の発生が心配されますので、ほ場状態や病害の発生状況を確認し、防除に努めましょう！

豆類で発生が考えられる病害

☆**茎疫病**：連作及び排水不良条件で多発。

根部や主茎の地際部に楕円形～紡錘形の水浸状の病斑を形成。

☆**菌核病**：強風により茎葉が損傷・多湿で多発。

葉や茎に白い綿状のカビを生じ、黒色の菌核を形成。

☆**斑点細菌病**：風雨が強く・多湿で発生が助長される。

ほ場をよく観察し、葉に淡褐色～黒褐色の多角形病斑を形成している場合は防除しましょう。。

大豆の主な防除薬剤

対象病害虫	薬 剤 名	倍率	使用時期	回数	効果の発現
茎疫病	フェスティバルC水和剤	600	収穫 7日前	3	予防・治療
	プロポーズ顆粒水和剤	1,000	収穫21日前	2	予防・治療
	ランマンフロアブル	1,000～2,000	収穫 7日前	3	予防
	リドミルゴールドMZ	500	収穫45日前	3	予防・治療
菌核病	トップジンM水和剤	700～1,000	収穫14日前	4	予防・治療
	スミレックス水和剤	1,000～2,000	収穫21日前	4	予防・治療
	プライア水和剤	1,000	収穫14日前	4	予防・治療
	ファンタジスタ顆粒水和剤	2,000	収穫 7日前	3	予防・治療
斑点細菌病	ドイツボルドーDF	500	-	-	予防
茎疫病 斑点細菌病	フェスティバルC水和剤	600	収穫 7日前	3	予防・治療

小豆の主な防除薬剤

対象病害虫	薬 剤 名	倍率	使用時期	回数	効果の発現
茎疫病	フェスティバルC水和剤	600	収穫 7日前	3	予防・治療
	ランマンフロアブル	1,000	収穫 7日前	3	予防
菌核病	トップジンM水和剤	700～ 1,000	収穫14日前	4	予防・治療
	スミレックス水和剤	1,000～ 2,000	収穫21日前	2	予防・治療
	プライア水和剤	1,000	収穫14日前	4	予防・治療
	ブロードワン顆粒水和剤	800～ 1,000	収穫14日前	4	予防・治療
	ファンタジスタ顆粒水和剤	2,000	収穫7日前	3	予防・治療
	ゲッター水和剤	1,000	収穫14日前	4	予防・治療

てんさいで発生が考えられる病害

☆褐斑病、根腐病、葉腐病 : 高温・多湿で多発。

主な防除薬剤

対象病害虫	薬 剤 名	倍率	使用時期	回数	効果の発現
褐斑病	グリーンペンセーブ 水和剤	400～ 600	収穫21日前	5	予防
	カスミン液剤	400～ 500	収穫7日前	5	治療
	カスミンボルドー	800～ 1,000	収穫7日前	5	予防・治療
	ホクガード乳剤	1,000～ 1,500	収穫14日前	2	予防・治療
	プランダム乳剤25	2,000～ 3,000	収穫7日前	3	予防・治療
	デビュー乳剤	800～ 1,000	収穫14日前	4	予防・治療
褐斑病 根腐病 葉腐病	フrintフロアブル25	1,500～ 2,000 根腐病 は 1,500	収穫21日前	3	予防・治療
根腐病 葉腐病	モンカットフロアブル40	1,000	収穫14日前	4	予防・治療
	モンセレン顆粒水和剤	1,000	収穫30日前	4	治療

○●農薬の適正使用・飛散防止に努めましょう●○